

ロタウイルスワクチン

（対象年齢：生後 6 週から生後 24 週または 32 週に至るまで）
（標準：初回接種が生後 2 月から生後 14 週 6 日まで）

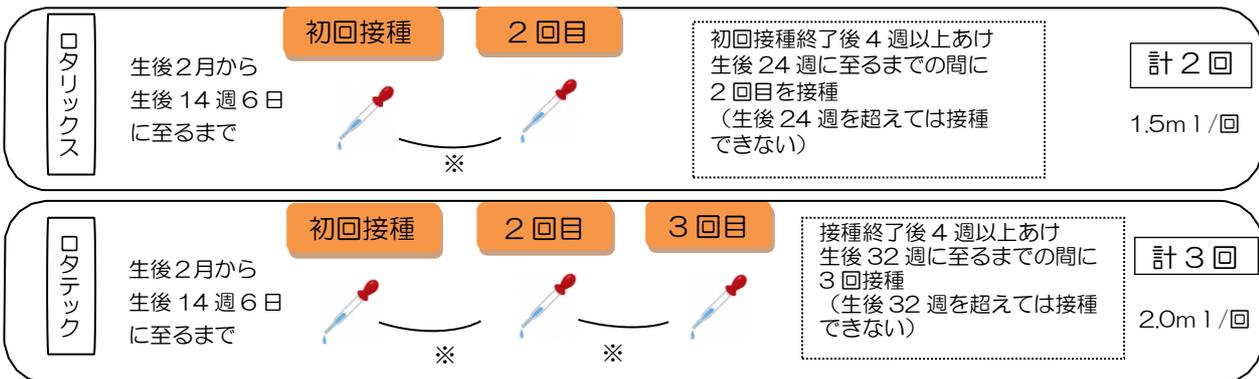
ロタウイルス胃腸炎の重症化を予防します。令和 2 年 10 月 1 日から定期接種に含まれることになりました。（令和 2 年 8 月 1 日以降に生まれた児が対象。）

病気の説明

ロタウイルス胃腸炎は、口から侵入したロタウイルスが腸管に感染して発症します。感染力が非常に強く、頻回の下痢や嘔吐による脱水やけいれん、腎不全、脳症のために入院に至るケースがあります。重症急性胃腸炎で入院する原因としては最も多いと言われています。生後すぐに感染する場合もあり、ワクチンの接種は早い時期に完了させます。

接種時期と回数

ロタリックス（1 価経口生ワクチン）とロタテック（5 価経口生ワクチン）の 2 種類があり、どちらも飲むワクチンです。2 種類とも予防効果（発症を 7～8 割減らし、入院するような重症化を予防する）にほとんど差はありませんが、接種回数や接種期限が異なります。どちらか一方を選びますが、基本的に途中からワクチンの種類の変更はできません。



※標準接種間隔：4 週以上の間隔

副反応と注意点

副反応としては、接種後 1～2 週以内に腸重積症状（ぐったりする、顔色が悪い、繰り返し起きる嘔吐、繰り返す不機嫌、血便、お腹の張り）が見られた場合には速やかに診察を受けるようにしてください。早期治療の場合、多くは手術をせずに治療できます。なお、腸重積（腸が腸に入り込み、閉塞状態になること）は、0 歳児の場合、ワクチンを接種しなくても起こることのある病気で、生後 3～4 か月頃から月齢が上がるにつれて発症数が増える傾向にあります。

接種前の注意点としては、赤ちゃんのお腹がいっぱいと上手にワクチンを飲めない場合があるため、上手に飲むよう医師、看護師の指示に従ってください。なお、ワクチンがうまく飲めなかったり、吐いたりした場合でも、わずかでも飲み込みが確認できれば、ワクチンの効果に問題はないとされるため再接種する必要はありません。

また、ワクチン接種後 2 週間程は、赤ちゃんの便の中にワクチンのウイルスが含まれることがあります。おむつの交換などは、丁寧に手を洗ってください。

※法で定められた期間内に接種されない場合は、自己負担となりますのでご注意ください。